



第3回（2012年度）調査のご報告

里山や公園などの大きなみどりだけが、
生きものたちの暮らしを支えているわけではありません。

「NPO 法人生態教育センター」では、2010年度から他のNPOや環境省・企業などと協働して、皆様のお宅のお庭にはどのような生きものがいるのかを調べる「お庭の生きもの調査」を実施しております。2012年度に実施した「第3回調査」は、以下のような結果となりました。

●第3回お庭の生きもの調査 概要

- ▽主催 : 特定非営利活動法人 生態教育センター
- ▽後援 : 環境省 生物多様性センター
- ▽協力 : 積水ハウス株式会社
- ▽調査目的 : 個人宅の庭を訪れる生きものを定点で観察し、そのデータを収集することで、生物多様性の現状把握と保全・回復のための施策立案の基礎データとして活用すること。
- ▽調査期間 : 平成24年5月1日～8月31日
- ▽調査参加庭数 : 99庭（調査参加者数：942名）
- ▽調査報告件数 : のべ 1,460件
- ▽参加者居住地 : 北海道石狩市から、沖縄県中城村までの全47都道府県
- ▽参加者年齢層 : 未就学児童を含む家族から、80歳代の方まで

2012年度調査で確認された生きものは、217種（昆虫類：171種、鳥類：20種、両生類：7種、は虫類：5種、ほ乳類：3種、その他：11種）になり、2010年度からの総数では、**674種**にのぼります。2010・2012年度調査とほぼ同じように、アリの仲間は100%、クモの巣も100%、スズメは89%の庭で見つかり、カエルの仲間も43%の庭に棲んでいる……など、市街地の生物多様性における「お庭」の大切さが、少しずつですが浮き彫りになってきました。

ご協力ありがとうございました。



●調査概要

▽指定した 20 種の生きものを庭で見かけたら、シートに○を付けるだけの、初心者の方でも簡単にできる生きもの調査。

▽調査参加庭数 : 70 庭

▽調査報告件数 : のべ 138 件

●お庭で見られた生きものランキング (対象 20 種)

順位	種	目撃された庭数	報告のべ件数	%	2011年度調査でのランキング	2010年度調査でのランキング
第1位	アリの仲間	70 庭	のべ134件	100.00%	アリの仲間 96.88%	アリの仲間 93.35%
第2位	クモの巣	70 庭	のべ130件	100.00%	クモの巣 96.88%	クモの巣 91.14%
第3位	スズメ	62 庭	のべ115件	88.57%	スズメ 95.31%	スズメ 90.03%
第4位	モンシロチョウ	53 庭	のべ 89件	75.71%	モンシロチョウ 82.81%	モンシロチョウ 72.30%
第5位	バッタの仲間	53 庭	のべ 89件	75.71%	バッタの仲間 65.62%	バッタの仲間 60.11%
第6位	トンボの仲間	49 庭	のべ 81件	70.00%	アオスジアゲハ 60.94%	トンボの仲間 55.40%
第7位	アブラゼミ	46 庭	のべ 63件	65.71%	トンボの仲間 60.94%	カマキリの仲間 48.20%
第8位	アオスジアゲハ	42 庭	のべ 71件	60.00%	ヒヨドリ 58.59%	カエルの仲間 47.92%
第9位	カマキリの仲間	36 庭	のべ 58件	51.43%	ベニシジミ 58.59%	アオスジアゲハ 46.26%
第10位	ベニシジミ	36 庭	のべ 56件	51.43%	カタツムリの仲間 55.47%	ベニシジミ 45.98%
第11位	ヒヨドリ	35 庭	のべ 53件	50.00%	アブラゼミ 52.34%	カタツムリの仲間 42.38%
第12位	カタツムリの仲間	34 庭	のべ 54件	48.57%	カエルの仲間 50.00%	アブラゼミ 41.55%
第13位	コオロギの仲間	33 庭	のべ 47件	47.14%	カマキリの仲間 49.22%	ヒヨドリ 41.27%
第14位	カエルの仲間	30 庭	のべ 57件	42.86%	コオロギの仲間 42.97%	ツバメ 40.17%
第15位	ミンミンゼミ	29 庭	のべ 37件	41.43%	ツバメ 41.40%	コオロギの仲間 37.12%
第16位	クマゼミ	26 庭	のべ 38件	37.14%	シジュウカラ 35.16%	シジュウカラ 32.13%
第17位	ツバメ	26 庭	のべ 37件	37.14%	ハチの巣 33.59%	ハチの巣 30.19%
第18位	シジュウカラ	25 庭	のべ 37件	35.71%	ミンミンゼミ 33.59%	ミンミンゼミ 25.48%
第19位	ハチの巣	24 庭	のべ 34件	34.29%	メジロ 26.56%	メジロ 22.71%
第20位	メジロ	19 庭	のべ 24件	27.14%	クマゼミ 25.00%	クマゼミ 19.67%

●お庭と生きものとの関係

○シジミチョウの仲間では、前翅の表が黒紫色のヤマトシジミは、都市のほとんどの庭でも見られますが、紅色でやや大型のベニシジミは数少なくなっています。その原因の一つは、ヤマトシジミの幼虫の食草は、アスファルトの隙間でも生えるカタバミですが、ベニシジミの食草は、畑の周り等に生えるスイバ、ギシギシなどで、都市部では生育できる草が減少しています。

今回の調査では、約 51%のお庭で確認されていますが、この先も生きていけるかが心配です。



ベニシジミ夏型

○ハチの巣が見られるお庭は、前回から順位を下げて第 19 位、約 34%に留まっています。集団で営巣する社会性のハチは、時に人を襲うことが話題になり、見つかると殺虫剤・・・というケースも少なくありません。

アシナガバチの仲間は、花や木からアオムシを捕ってくれるので、庭の生態系には大切な捕食者の役割を担っています。夏以降は巣から約 2mが警戒範囲なので、特に子供さんが近づかないように、注意しましょう。

ハチと人との距離の取り方・・・周囲の環境も変化し、難しい課題ですね。



ハチの巣



●調査概要

▽指定した 16 種を中心に、庭で見かけた野鳥の種類と数を記録する調査。

▽調査参加庭数 : 47 庭

▽調査報告件数 : のべ 89 件

●お庭で見られた野鳥ランキング（対象 16 種）

順位	種	目撃された庭数	報告のべ件数	%	2011年度調査でのランキング	2010年度調査でのランキング
第1位	スズメ	43 庭	のべ 79件	91.49%	スズメ 96.15%	スズメ 91.10%
第2位	キジバト	28 庭	のべ 47件	59.57%	ヒヨドリ 65.38%	ヒヨドリ 60.96%
第3位	ヒヨドリ	24 庭	のべ 42件	51.06%	キジバト 64.10%	キジバト 50.68%
第4位	シジュウカラ	22 庭	のべ 30件	46.81%	ツバメ 36.99%	シジュウカラ 48.63%
第5位	ハジブトガラス	19 庭	のべ 34件	40.43%	ハジブトガラス 46.15%	ツバメ 36.99%
第6位	ツバメ	16 庭	のべ 28件	34.04%	シジュウカラ 46.15%	ムクドリ 32.19%
第7位	ムクドリ	14 庭	のべ 23件	29.79%	ムクドリ 47.44%	メジロ 29.45%
第8位	メジロ	12 庭	のべ 18件	25.53%	メジロ 29.49%	ハジブトガラ 26.03%
第9位	ハシボソガラス	12 庭	のべ 16件	25.53%	ハシボソガラス 19.23%	ハクセキレイ 18.49%
第10位	オナガ	6 庭	のべ 7件	12.77%	ハクセキレイ 19.23%	ハシボソガラ 17.12%
第11位	ハクセキレイ	5 庭	のべ 5件	10.64%	オナガ 19.23%	オナガ 10.96%
第12位	コゲラ	5 庭	のべ 5件	10.64%	コゲラ 8.97%	コゲラ 10.96%
第13位	カワラヒワ	3 庭	のべ 4件	6.38%	カワラヒワ 7.69%	カワラヒワ 8.90%
第14位	ヤマガラ	3 庭	のべ 3件	4.25%	モズ 7.69%	モズ 4.79%
第15位	モズ	2 庭	のべ 2件	4.25%	ヤマガラ 2.56%	ヤマガラ 4.79%
第16位	アオバズク	0 庭	のべ 0件	0.00%	アオバズク 1.28%	アオバズク 0.68%

●こんな鳥たちもお庭に！ ～ その他 見られた鳥 ～

アオサギ イソヒヨドリ ウグイス エナガ カッコウ カワラバト シメ
 シロハラ ジョウビタキ セグロセキレイ ハヤブサ ホトギス



メジロ



ウグイス



コゲラ

●こんな鳥もお庭で見られています……

1985 年頃から、東京の都心部で繁殖を始めたメジロは約 30%、コゲラは約 10%のお庭で見られています。茂みに隠れる事が多いウグイスも、冬には都心でも生息していますが、夏でも見られるお庭が出てきています。

「まさかお庭で・・・？」と思われる様々な野鳥が、庭で繁殖を始めたら・・・これからも、どんな鳥が繁殖するか・・・楽しみですね。



● 調査概要

▽お庭で見かけたあらゆる生きものについて、種類と数を記録する調査。

▽調査参加庭数

： 42 庭

▽調査報告件数

： のべ 1,233 件

● お庭で見られた生きものの種類

種別	目撃された種数	報告のべ件数	2010・2011年度調査と合わせた総計
昆虫	171種	のべ 553件	526種
鳥類	20種	のべ 102件	52種
両生類	7種	のべ 27件	12種
は虫類	5種	のべ 56件	13種
ほ乳類	3種	のべ 6件	7種
その他	11種	のべ 38件	64種
計	217種	のべ 782件	674種

● こんな生きものたちもお庭に来ていました！

お庭の環境ではなかなか見られないと思われていた生きものや、そもそも出会うことが難しい生きものなどを発見した参加者の方もいました。



ヤマトタマムシ

種	目撃された庭数	報告のべ件数
ヒグラシ	7庭	のべ10件
クルマバツタ	3庭	のべ3件
ヤマトタマムシ	3庭	のべ4件
ミヤマカワトンボ	2庭	のべ2件
ジャコウアゲハ	1庭	のべ4件
アブラコウモリ	1庭	のべ4件
アサギマダラ	1庭	のべ1件
アオバズク	1庭	のべ1件
トウキョウダルマガエル	1庭	のべ1件

● お庭を利用する生きものは 674 種類も確認されました。

2010・2011 年度に引き続き、多くのお庭で「お庭の生きもの目録」調査が行われ、昆虫類を始めとして 2012 年度は 217 種類、これまでと合わせて 674 種類の生きものが確認されました。「どのような生きものたちがお庭を利用するのか」は、これまで正確には分かっていませんでしたが、この調査の蓄積は、その答えに迫る大事な鍵となるはずです。



ヒガシキリギリス



ニホンアマガエル



キアゲハ



ニホントカゲ

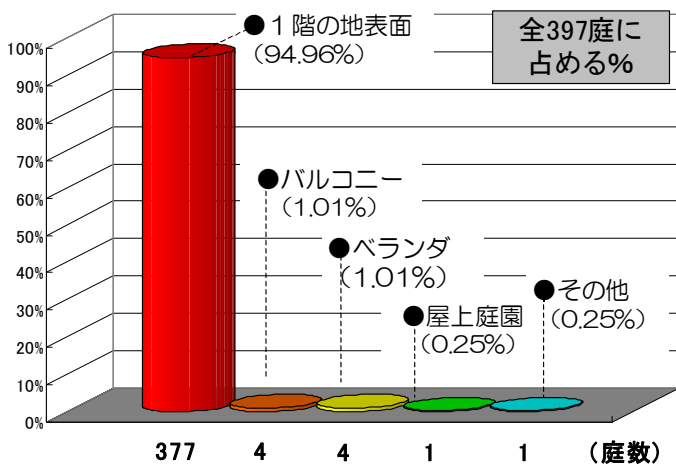
● 調査概要

▽各調査のフィールドとなる、あなた家の「お庭」のプロフィールを把握します。
 ▽今後の継続的な調査と経年変化の把握によって、ゆくゆくはこれらの調査データを基礎として、「どんなタイプの庭が、どんな生きものにとって重要な役割を果たしているか?」「どんな庭と周辺地域の組み合わせが、より多くの生きものに利用されるのか?」「生物多様性保全に貢献するためには、どのような庭づくりが必要か?」などを考えていきたいと思ひます。

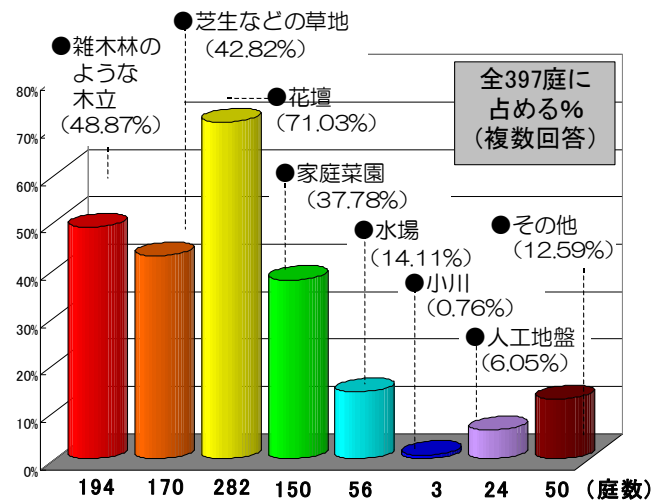
▽調査参加庭数：397 庭

● ご協力いただいたのは、例えばこんなお庭でした……

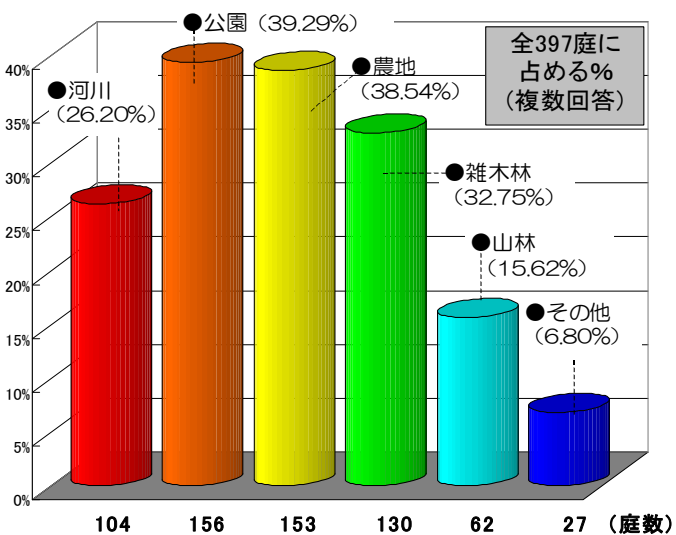
▼ 庭のタイプ



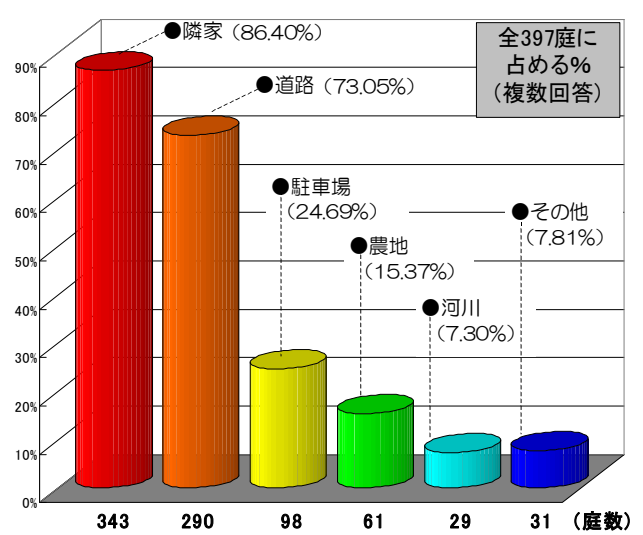
▼ 庭の構成要素



▼ 一番近い緑地



▼ 庭に接する環境



●「お庭の生きもの調査」は、以下のような考え方に基づいて行われています。

『お庭の生きもの調査』の目指すもの

特定非営利活動法人 生態教育センター
理事長 小河原孝生

新宿の高層ビルが見える屋上の菜園では、昨年はアオドウガネ（コガネムシの仲間）や、コアオハナムグリ（幼虫は根切り虫と呼ばれる）が大発生し、土に潜り込んでその幼虫に卵を産むキオビツチバチが目につきました。クマバチとニホンミツバチは、以前と変わらないのですが、今年はまだコマルハナバチを見ていません。そして、この10年ほどで、大きなミスジマイマイがいなくなり、3年前からは、11月に姿を見せるジョウビタキが定着しなくなりました。一昨年の夏は、ハラビロカマキリがいなくなり、アカトンボの仲間は激減しています。

このように、日頃見慣れた庭だからこそ、その変化に気づくのですが、一方では、記録がないと確実なことが言えません。これまでも、様々な市民団体や自治体が生きもの調査を進めてきましたが、大半は生きものの分布拡大や初認の時期を明らかにしようとするものでした。『お庭の生きもの調査』では、個体数の増減やまちづくりへの展開までを考慮し、次のような視点から取り組んでいきます。

1) 市街地の生物多様性は、基盤となる庭の緑が支えています。

2010年、名古屋で開かれた都市の生物多様性に関する国際会議では、「アーバン・マトリックス」の重要性が議論されていました。生息地悪化のプロセスでは、まとまった緑地に穴があき、緑地が分断され断片化し、さらに規模が縮小していきます。そして、ついには周囲の環境の影響により、その質＝生物多様性が消耗していくと云われています。しかし、それだからこそ、消耗の度合いは基盤となる都市の環境（アーバン・マトリックス）＝「**点在する緑の質と量**」によって左右されることがわかってきたのです。

今後、日本の人口の80%が首都圏、または地方の中核都市に集中すると云われています。つまりほとんどの日本人は、生息地が島のように断片化し、縮小化してしまっている土地に暮らすこととなります。その都市域に残っている小さな島のような生息地の生物多様性は、周囲の環境（**庭や街路樹などマトリックスの緑**）の多様性に依存しているのです。

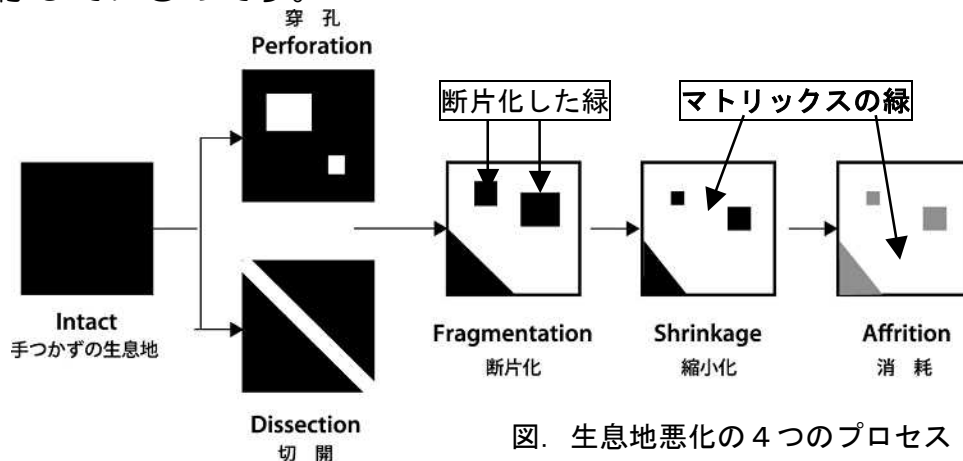


図. 生息地悪化の4つのプロセス

2) 庭は、持続可能な定点調査地として有効です。

常に観察できる庭だからこそ、誰もが専門家の援助とコーディネートがあれば、同じ場所で定期的に、個体数の確認までが可能です。イギリスの鳥学会では、すでに 80 年以上にわたる定量的なモニタリング（ガーデン・バードウォッチ）を成功させています。私たちも、子どもたちからお年寄りまで、一緒に楽しく学びながら参加できるように、簡単に始められる初心者コースを設定しています。

3) 誰もが、自分の庭から生物多様性の保全活動を始めることができます。

重要なのは、「**私たちの家の庭は、様々な形で生物多様性に影響を与えている**」ということです。私たちの庭が、生物の多様性をより高める機能を持っているとすれば、そのような庭が増えることによって、全体としての街や都市の生態系に、大きな恩恵をもたらす事ができるのではないのでしょうか。

小さなベランダから大きな庭まで、その生物多様性を向上させることは、残された緑地や市街地全体の生物多様性を保全する事に繋がっています。そして、参加者の皆さんにとっては、①野生生物とともに暮らす楽しみがあり、②身近な生物の営みから、多くのことを学べ、そして何よりも③生物多様性の保全に貢献できる喜びがあります。

2010 年の 10 月、名古屋で開かれた COP 10（生物多様性条約第 10 回締約国会議）では、国際的に様々な目標が示されました。私たちはこれを契機に、誰もが参加できる活動にするためにも、生物多様性を身近なものとして感じる『お庭の生きもの調査』を、継続していききたいと考えています。

「お庭の生きもの調査」では、
少なくとも **674 種類以上**の生きものが見つかりました。

庭から始まる生物多様性・・・今後もぜひご協力ください。



2012 年 9～10 月：都市緑化フェア／日比谷公園



一般社団法人英国王立園芸協会日本支部 会報
2012 年 9 月号に、寄稿させていただきました。

その他、2012 年 8 月：日本環境教育学会・ポスター発表
12 月：エコプロダクツ展・ブース展示等で発表

●「お庭の生きもの調査」は、以下のような皆様に
ご協力いただきました。

「お庭の生きもの調査」へ参加登録していただいた方のお住まいや年齢層などのプロフィールです。ご協力ありがとうございました。

▼都道府県別登録者数

北海道	5	東京都	82	滋賀県	27	香川県	10
青森県	4	神奈川県	77	京都府	28	愛媛県	8
岩手県	5	新潟県	10	大阪府	36	高知県	3
宮城県	17	富山県	3	兵庫県	56	福岡県	32
秋田県	1	石川県	1	奈良県	21	佐賀県	6
山形県	6	福井県	6	和歌山県	9	長崎県	7
福島県	13	山梨県	8	鳥取県	2	熊本県	10
茨城県	27	長野県	7	島根県	4	大分県	8
栃木県	23	岐阜県	35	岡山県	26	宮崎県	2
群馬県	11	静岡県	34	広島県	21	鹿児島県	1
埼玉県	52	愛知県	78	山口県	20	沖縄県	2
千葉県	57	三重県	30	徳島県	4	不明	7
						計	942

▼年齢層別
登録者数

～10代	60
20代	7
30代	115
40代	166
50代	184
60代	282
70代～	101
不明	27
計	942

●「お庭の生きもの調査」は、今後も続いていきます。
ご興味のある方は、ぜひ調査への参加をご検討ください。



第4回(2013年度)調査を実施します！

○第4回(2013年度)の調査は、例年通り5～8月の期間に実施いたします。

その間に、可能ならば毎月、お忙しければ1回のみでも結構ですので、調査結果をご報告ください。調査の内容や方法に変更はなく、生きものの初心者の方も、ベテランの方も、自宅で楽しみながら生物多様性保全活動に参加することができる調査になっていますので、ご賛同いただけるようであれば、ぜひエントリーをお願いいたします。

▼第4回調査から新たに参加を希望される方は、メンバー登録をお願いいたします。

▼第1・2・3回調査の際にご登録済みの方は、新たな登録は不要です。

- ・調査シートをご利用の方は、昨年同様、郵送・FAXでご報告ください。
- ・WEBサイトをご利用の方は、これまでと同じID・パスワードで報告専用ページにご入場いただけますので、必要事項を入力し、送信してください。
- ・以前に登録だけはされたものの、調査や報告はできなかった方でも、もちろん参加可能です。

■お問い合わせ、参加申込みは……

[主催]



N P O 法人

生態教育センター

<http://www.wildlife.ne.jp/>

〒189-0013

東京都東村山市栄町 2-28-5

小河原ビル 3F

TEL:042-390-0032 FAX:042-390-1237

e-mail : ikimono@wildlife.ne.jp